

24 併設型中高一貫教育校の設置

教育部学びの変革推進課

提案の要旨

併設型中高一貫教育校の設置

現状及び課題

現在、呉市では、「郷土を愛する心豊かでたくましい呉の子どもの育成」を目標に、社会で自立して生きていくために必要な確かな学力、豊かな心、健やかな体といった基礎的な力を身につけるための9年間を見通した教育を推進しています。今年度から、幼児教育、高等学校教育等とのつながりを大切にしたい教育を今まで以上に進め、これからの新しい時代を切り拓くために不可欠な資質・能力の育成を目指しています。

一方、少子高齢化が進む呉市においては、若年層の定着を目指したまちづくりに取り組んでいるところですが、小学校卒業時に一部の児童が、市外の国公立・私立中学校へ進学するという状況もあり、多様なニーズに対応した教育が求められています。

こうしたことから、グローバル社会に通用する資質・能力を身に付け、郷土の良さや素晴らしさを知り、地域社会に貢献しようとする人材を育成するために、併設型中高一貫教育校を設置し、系統的なカリキュラムを組むことで、多様な教育の充実を図ることができると考えています。

【呉市の学校数】

呉市立小学校 36校、呉市立中学校 26校、私立中学校 1校、呉市立高等学校 1校
県立高等学校 7校、私立高等学校 4校、県立特別支援学校 2校及び分級1

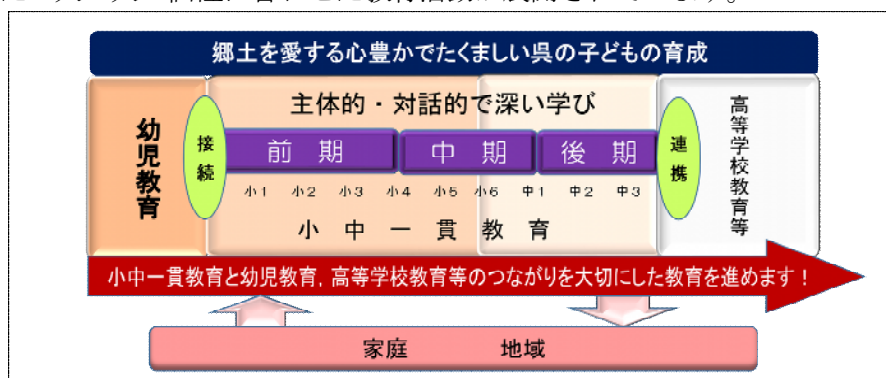
取組状況等

【義務教育】

「郷土を愛する心豊かでたくましい呉の子どもの育成」を目標に掲げ、これまで進めてきた小中一貫教育の取組を基盤とし、「主体的・対話的で深い学び」を通して、新しい時代に求められる資質・能力を育成する教育活動を展開しています。

【高等学校教育等】

呉市立呉高等学校を始め県立高等学校、私立高等学校等において、地域の特性や社会のニーズに対応した一人一人の個性に合わせた教育活動が展開されています。



【その他】

- 呉地区公立学校校長会連合会による研修会等の実施
 - ・ 本県教育の振興に資することをねらいとし、学校経営委員会、学習指導委員会、生徒指導委員会及び進路指導委員会を立ち上げ、学校教育に関わる諸問題の研究、協議、情報交換の実施等、小学校、中学校、高等学校が連携した専門的な取組が行われています。
- 呉地区生徒指導研究推進協議会の実施
 - ・ 小学校、中学校、高等学校の連携を強化し、呉地区児童生徒の健全育成を図ることをねらいとし、研究実践交流や情報交換が計画的、継続的に行われています。

提案の内容

○ 広島県立呉三津田高等学校への併設型中高一貫教育校の設置

同校は、創立113年を迎える県内でも有数の伝統校です。また、総合的な学習の時間のパイロット校として実績を上げ、カリキュラム開発を行う県内のリーディング校としての使命が与えられている学校でもあります。

進学実績についても、難関国立大学・私立大学への高い合格率を誇る進学校であり、卒業生には、政財界を始め、国内外の様々な分野で活躍する人材を多く輩出しています。

また、同校は、グローバル社会をリードし、地域社会に貢献しようとする気概を持った質実剛健な生徒を育成することを標ぼうしており、当該校に中等部を併設し、中高一貫教育校とすることにより、市が進めてきた小中一貫教育の取組を生かし、系統的な教育を提供することができます。

これまで、希望する中学校や中学生のみを対象としていた授業体験や小論文指導を、平成30年度は、近隣の中学校3校の全2年生を対象に数学科、英語科の計画的な乗り入れ授業として実施しております。

呉市に中高一貫教育校を設置することで期待される効果として、これまでの中学校・高等学校に加えて、生徒や保護者が中高一貫教育校も選択できるようになり、中等教育の多様化が図られます。また、全県から生徒が集まることにより、呉の教育のレベルアップが図られます。さらに、多様な人材を輩出できることにより、人と情報の交流が生まれ、まちの活力や魅力向上につなげることができます。

